



川口市立在家小学校



学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

令和8年度 合言葉 学びワクワク 笑顔キラキラ 元気モリモリ

道徳の重点目標

- ①友達や家族、教師、社会などに対して感謝の気持ちを表し、他社との関係を大切にする。
- ②相手を思いやるとともに、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図り、謙虚で広い心をもつ。

教育活動全体で取り組む道徳教育



1年生を迎える会



なかよしグループ交流会



あいさつ運動

他教科との関連

本校では、様々な教育活動が豊かな人格形成につながることを意識して道徳教育を行っています。子供たちは、同学年だけでなく、他学年との交流活動などたくさんの体験活動を通して、物事の善悪や相手を思いやる気持ちを学んでいます。



校内道徳掲示

道徳科の授業実践

自己を見つめる

児童にとって身近な問題や社会的問題等について問題意識をもち、日常生活の経験や共通体験を想起しながら、自分との関わりの中で考えられるように発問を工夫しています。



多面的・多角的に考える

他者の意見に耳を傾け、道徳的価値を多面的・多角的に考える授業を展開し、自己の生き方について考えを深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てています。

道徳資料の共有化

資料室に道徳コーナーを設け、教科書等の場面絵を保管しています。ブロックごとに棚を分け、番号を付けて管理しています。資料をマットフィルムのラミネートで加工し、児童から見やすく、長期使用できるように工夫しています。また、学期ごとに補修や補充などを行っています。

